

感染症対策公開セミナー

BMSA Open Seminar

「身近な脅威 感染症」

講演 Session Talk

13時15分～14時 **過去十年、世界を震撼させた
動物由来ウイルス感染症と私たちの社会**
エボラウイルス病、エムポックス、COVID-19
講師：西條 政幸 先生
札幌市保健所 医務・健康衛生担当局長

14時15分～15時 **鳥インフルエンザって何？対策と注意点**
鳥から鳥、鳥から人間？
講師：迫田 義博 先生
北海道大学 大学院獣医学研究院 教授

15時15分～16時 **救急活動中の感染防止対策に関する研究**
新たな新興感染症も視野に
講師：佐々木 広一 先生
広島国際大学 保健医療学部救急救命学科 准教授

申込方法

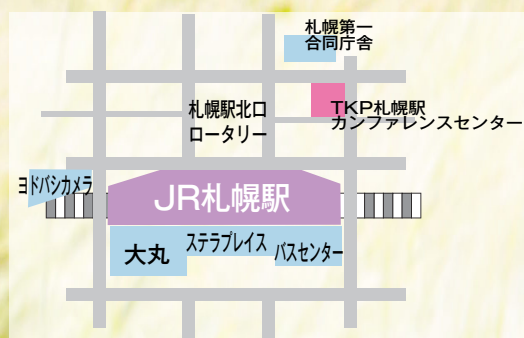
QRコードを読み取り必要事項を記入の上
10月10日までに申し込み下さい。

尚、先着順に定員（140名）になり
次第締め切らせていただきます。

連絡先

bmsa.hokkaidou@gmail.com

電話：011-551-1212



JR札幌駅北口徒歩2分
札幌市営地下鉄さっぽろ駅16番出口徒歩1分

日 時 令和5年10月19日（木）
時 間 13：00～16：30（受付開始12：30～）
会 場 TKP札幌カンファレンスセンター ホール3A
札幌市中央区北7条西2丁目9（旧代々木ゼミナール）
主 催 特定非営利活動法人 バイオメディカルサイエンス研究会
共 催 株式会社さくら化研 櫻井工業株式会社 イカリ消毒株式会社 株式会社road planning
株式会社トモニ 管清工業株式会社 椿本興業株式会社 日本細菌検査株式会社
特定非営利活動法人NBCR対策推進機構
後 援 北海道 札幌市

感染症対策公開セミナー

「身近な脅威 感染症」

講師経歴



西條 政幸先生

1987年 3月 旭川医科大学医学部卒業
1987年 4月 旭川医科大学医学研究科（大学院）入学
1991年 3月 同修了（医学博士）
【職歴】
1991年 4月 名寄市立総合病院小児科
1994年 4月 旭川医科大学付属病院小児科（医員）
1995年 6月 JICAザンビア感染症対策プロジェクト専門家、
ザンビア大学医学教育病院小児科講師
1996年 7月 旭川医科大学付属病院小児科（医員）
1997年 4月 国立感染症研究所ウイルス第一部外来性ウイルス室研究員
1999年 4月 同ウイルス第一部主任研究官
2007年11月 同ウイルス第一部第三室長
2010年10月 同ウイルス第一部長
2021年 4月 札幌市保健福祉局・保健所 医療政策担当部長
2023年 4月 札幌市保健福祉局・保健所 医務・健康衛生担当局長（現在に至る）
2021年 4月から 国立感染症研究所 名誉所員
【その他】
早稲田大学生命理工学部 教授・岐阜大学連合獣医学部 教授（2021年3月まで）
【学会活動】
日本ウイルス学会理事，日本神経感染症学会理事，日本抗ウイルス療法学会理事，他
【国際活動】
世界保健機関 Advisory Committee for Variola Virus Research（2010年から2021年），Scientific Advisory Group for the Origins of Novel Pathogens（2021年から現在）の委員



平成6年3月 北海道大学獣医学部卒
【職歴】
1994年 4月 農林水産省家畜衛生試験場（現 動物衛生研究所）に採用
1994年10月 同 海外病研究部免疫研究室に配属
2000年 9～12月 英国動物衛生研究所バーブライトラボラトリー 特別研究員
2001年 4月 北海道大学 大学院獣医学研究科 微生物学教室 助手として転出
2005年 7月 同 准教授
2014年 4月 同 教授（現在に至る）



佐々木 広一先生

1997年 4月 札幌市消防局
2011年 4月 総務省消防庁救急企画室（～2013.3）
2016年 4月 北海道大学大学院公共政策教育部公共政策学専攻 入学
2018年 3月 北海道大学大学院公共政策教育部公共政策学専攻 卒業 公共政策学修士取得
2020年 4月 広島国際大学保健医療学部救急救命学科
2022年 9月 広島国際大学大学院 医療・福祉科学研究科 医療工学専攻 博士（医療工学）取得
（現在に至る）
【研究テーマ】
・救急隊の感染防止、救急関係法規
【論文（査読あり）】
・空調設定が救急車内の換気状態に与える影響に関する実験的検討
・救急活動における感染防止用手袋の使用状況の現状と課題
・救急活動時の汚染拡大と手袋交換による汚染拡大防止に関する研究と対策
・救急活動時の感染防止衣の汚染状況に関する実態調査と接触感染防止策の検討
・救急活動におけるオゾンガス消毒の使用状況の現状と課題
・オゾン発生器による救急車内のオゾン拡散状況の検討